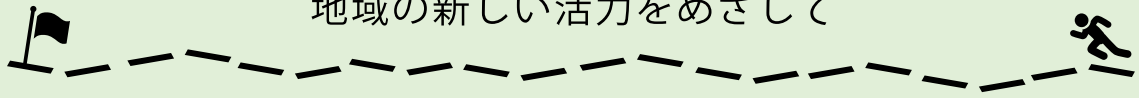


地域おこし協力隊の活動日誌

地域の新しい活力をめざして



地域おこし協力隊員の活動をお伝えするこのコーナー。今回は総務省の特例措置により任期を延長した、岩本脩成隊員と本武郁也隊員の活動を紹介します。

◎地域おこし協力隊の任期延長とは？

地域おこし協力隊の任期は最長3年です。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、地域協力活動に大きな制約を受け、任期中に十分な活動ができなかった隊員に対し、総務省が任期延長の特例措置を講じました。隊員本人が希望し、かつ受入自治体が必要と認めた場合のみ、2年を上限に任期の延長が可能となりました。2022年3月に協力隊を卒業予定だった岩本隊員と本武隊員は、この特例措置を利用して、任期を延長することになりました。



①青パイア知名度拡大へ 岩本隊員の取り組み

岩本隊員は、「栄養豊富な青パイアを食べてみんなに健康を届けたい」と、青パイアの栽培や商品開発に取り組んできました。任期中は青パイアの知名度と消費量拡大のため活動し、新富町の産地化を目指す予定でした。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、県内外のPR・販売イベントのほとんどがキャンセル。試食も行えず、まだ一般には知られていない青パイアの味を言葉だけで伝えるのは困難でした。ドレッシングなど青パイアの商品の開発、「パイア王子」の愛称でテレビ等への出演など、できる範囲でのPRに取り組みましたが、知名度は十分ではありません。引き続き、青パイアの認知向上やより魅力的な商品開発を行う予定です。

②ジムとイベントの運営 本武隊員の取り組み



格取得が予定よりも遅れたり、県内感染者の急増によりジム会員の休会・退会が相次ぎ、十分地域に根付いているとは言えません。4月からは営業場所をるびもーる商店街に移し、心機一転、活動を行っています。本武隊員はジム運営の独り立ちを目指しながら、今後の任期中は、こゆ朝市など観光イベントの運営にも取り組む予定です。ジムの利用者に限らない形で、町民の皆さんと直接関わり、新富町へ恩返しをしたいと考えています。



事業化を目指す両隊員ですが、まだ至らぬ点も多いかと思えます。青パイア商品やジムを利用された際は、ぜひご意見・ご感想をお寄せいただけますと、両隊員の励みになります。